



たてやま議会だより



●平成25年2月号 ●No.100 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



平成25年館山市消防出初式の様子

平成24年12月定例市議会

一般会計補正予算の専決処分を承認
千葉県市町村総合事務組合規約の一
部を改正する規約の制定に関する協議
についてなどを議決

12月定例市議会は、11月30日から12月19日までの会期20日間にわたって開かれ、市長提案の11議案が原案どおり可決、承認されました。

12月定例会において、会議初日（11月30日）は、会期を20日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われ、その後、千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議ほか2件の審議を行いました。

12月6日及び7日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

最終日（12月19日）は、各委員会の委員長が、委員会での議案等審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

12月12日は、平成24年度館山市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認についての審議を行なった後、各議案について質疑を行い、その後、所管の

■ 主な内容 ■

- ★議案概要と委員会審査 2～3頁
- ★一般質問 4～9頁
- ★議決結果 10頁

議案概要と委員会審査

◇今回から議案概要と委員会の審査を合わせて掲載することとしました。

12月定例会に提案された議案と委員会の主な審査内容を紹介します。

議案第57号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について 衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行するための補正予算を地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

議案第58号 千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について 組織団体である大網白里町が、平成25年1月1日から市制を施行し、大網白里市になることに伴い、千葉県市町村総合事務組合規約を改正する必要があるため、同組合規約の一部を改正することについて、地方自治法の規定により、関係地方公共団体と協議しようとするもの。
議案第59号 工事請負契約の変更について 市庁舎(本館事

務棟)耐震改修工事については、白幡興業株式会社と工事請負契約を締結したが、施工に際し、既存コンクリートブロック壁の鉄筋が柱・梁に十分に定着されていなかったことが判明し、新たに補強工事が必要となつたため契約金額を213万7800円増額し、2億268万7800円に変更しようとするもの。



耐震改修工事後の市役所の外観

議案第60号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ213万8千円を増額し、総額169億5197万6千円としようとするもの。

主要事項として、庁舎本館事務棟耐震改修工事における追加補強工事。

議案第61号 館山市小規模水道条例の制定について これまで県により行われていた小規模水道に対する規制と同様の規制を市が行うために必要な事項を定めようとするもの。

建設経済委員会の審査

(委員長 本多成年議員)

学校の水質検査を統一して三芳水道企業団等に委託することができないかと聞いたところ、三芳水道企業団は水道の経営を業務としており、今までも安房保健所が公的衛生機関として、それをチェックする体制をとっている。

市の条例が成立した際には、条例が適用される施設については、市でチェックしていく予定である、との説明がありました。

議案第62号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により公営住宅法の

一部が改正されたことに伴い、入居資格のうち同居親族要件を

廃止し、収入基準を定めるとともに、笠名住宅の一部について用途を廃止しようとするもの。

建設経済委員会の審査

笠名の市営住宅について今後どうするかと聞いたところ、今後、使用に耐えないものについては、計画的に用途廃止に向けた検討をしていく、との説明がありました。

また、今後の市営住宅のあり方について聞いたところ、住宅ストック計画に基づき、管理戸数250戸に向けて適正な管理をしていきたい、との説明がありました。

議案第63号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により都市公園法の一部が改正されたことに伴い、都市公園及び公園施設の設置基準について定めようとするもの。

建設経済委員会の審査

都市公園の設置基準について聞いたところ、全国一律に決まっていたものを、地方分権一括法により条例委任されることとなつ

たが、従来の基準で設置する、という説明がありました。

議案第64号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ1億2554万3千円を増額し、総額170億7751万9千円としようとするもの。

主要事項として地域おこし協力隊に係る隊員の支援業務委託費、自立支援医療費、障害介護給付費、私立の認可保育園などへの入所児童の増加による運営委託料、松くい虫防除事業、平砂浦砂防林の再生を図るための平砂浦植林事業、北条小学校耐震改修事業、経年劣化した館山城外壁の修繕などを行う博物館修繕事業など。



松くい虫の被害状況

総務委員会の審査
(委員長 石井信重議員)
地域おこし協力隊事業につい

て事業内容を聞いたところ、総務省による制度の拡充によるものであり、委託費の中に隊員の住居改修費用等を含むことが可能となり、1人当たり50万円が増額されたものである。

この増額分は住宅改修費用に限らず、従来から認められている活動車両費用、研修費用等に使用できるものである、との説明がありました。

また、自立支援給付事業について、自立支援医療費の給付件数が144件から420件に増加している理由を聞いたところ、腎臓機能障害の方がふえたことによる、との説明がありました。

また、焼却灰の運搬及び処理に係る委託料の債務負担行為について、前年度の8千万円と今回の2億円との差異の理由を聞いたところ、平成23年度において委託先の業者が搬入停止となったため、市の最終処分場に約2400トンの焼却灰が仮置きしてあり、平成25年度発生予定の2800トンとあわせて約2年分の委託料となる。また、1トン当たりの処理単価も値上がりをしており、限度額の増となっている、との説明がありました。

次に、有害鳥獣被害防止対策

事業補助金について、申請の状況を聞いたところ、県から追加要望の募集があったことによる増額であり、申請件数は小原地区1件、畑地区12件、宝貝地区3件、竹原地区5件である、との説明がありました。

また、スクールバス等の運行に係る借上料及び委託料の債務負担行為について、今後の推移を聞いたところ、房南地区で検討されている小中一貫校の再編に伴い大規模な見直しを行っている。当面は現行どおり運行を考えており、年間2500万円程度の支出が見込まれる、との説明がありました。



市内正木地区にて捕獲されたイノシシ

議案第65号 平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ

れ3602万円を増額し、総額68億7395万7千円としようとするもの。
主要事項として、一般被保険者高額療養費、退職被保険者高額療養費など。

文教民生委員会の審査

(委員長 三澤 智議員)

特定保健指導の内容について聞いたところ、健康診断などで、ある一定の基準を超えた方に対し、これ以上数値が悪化しないよう行政のほうで個別に対象者に指導するもので、動機付け支援と積極的支援の二段階ある、との説明がありました。

また、電算処理業務や特定保健指導の契約に際し、契約期間を単年度にするか複数年度にするかの基準はあるのかと聞いたところ、一定の基準はなく、契約をいかに効率的にできるかという視点で行っている。

特定保健指導の場合は、指導する方とされる方の信頼関係が重要なので、単年度よりも複数年度のほうが効果が高いという判断をしている、との説明がありました。

また、来年秋からのレセプトデータベース化により、高額療養費の該当者が健康診断を受け

ているかを把握できるようにするのかと聞いたところ、過去の特定健診等のデータとレセプトのデータをリンクすることで、過去に検診を受けた方や、現在治療している方の抽出もできるので、傾向を調べることも可能である。今はデータベース化する作業をしており、どういう分析をするかについての医学的、疫学的な知識は医療関係者などの専門家に協力いただき、分析する方向で進んでいる、との説明がありました。

また、国民健康保険税の収納状況と未収傾向について聞いたところ、現年度については調定額、約16億円に対し、11月末現在で約8億円。調定に対する徴収率は50・13%であり、昨年度1・70ポイントアップしている。

また、滞納繰越分については調定額、約11億2千万円に対し、11月末現在で約1億6千万円。徴収率は14・38%であり、昨年度比4・63ポイントアップしており良い収納状況となっている、との説明がありました。

議案第66号 平成24年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号) 債務負担行為の補正として、介護保険料事務に係

る電算処理業務委託料のほか2件の追加。

文教民生委員会の審査

配食サービスの1食あたりの市の負担額について聞いたところ、合計765円の内、市民税課税世帯からは材料費、調理費分の450円を徴収している、との説明がありました。

また、配食サービスの栄養基準は何に基づいているのかと聞いたところ、契約時のプロポーザルの参加資格要件として、献立の作成及び調理に携わる管理栄養士または栄養士の指導を受ける体制が取れている状態と定めているので、栄養のバランスが取れたものになっていると考えている、との説明がありました。

議案第67号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第2号) 債務負担行為の補正として、防災設備の保守点検に係る委託料の追加

建設経済委員会の審査

防災設備の保守点検に係る委託料の保守点検の内容について聞いたところ、火災時の消防設備の点検である、との説明がありました。

一般質問

一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、12月6日及び7日の2日間にわたり、次の11名の議員が行ないました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

	石井 敬之 ①館山市の観光 ②公有地の活用 ③道路整備 ④防災ラジオ
	三澤 智 ①船形バイパスの進捗状況 ②館山市の漁業協同組合(漁業協同組合の数、漁獲高、 船形ふれあい市場の活性化対策) ③高齢者対策(対策の内容、広めるための方法) ④広域連合による観光振興 ⑤彫刻師後藤義光氏生誕200年の記念行事
	内藤 欽次 ①ペットボトル処理業務の随意契約 ②坂田の残土埋め立て事業 ③ユー・エム・シー・ジャパン株式会社の撤退後の問題 ④ 中学校のいじめに関わる自殺問題
	鈴木 順子 ①医療費削減に向けた取り組み(レセプト点検データ化 、重複診療などの状況) ②小学校英語教育 ③南総里見まつり ④旧公設卸売市場用地の取り扱い ⑤ 市内企業閉鎖のその後の取り組み
	石井 敏宏 ①中学2年生自殺問題の調査(アンケート廃棄した日時、枚数等、 再アンケートの記名式の理由等) ②残土問題(要望書に沿った運搬、 定期検査の立ち会い) ③広域のごみ処理施設の建設計画(積算の根拠、財政負担) ④政治活動・選挙運動 ⑤自治基本条例
	森 正一 ①市内公立学校施設の耐震化(今後の耐震化のスケジュール、富崎小学校の耐震化) ②いじめ対策(いじめ相談室窓口の拡充 、いじめ防止対策の強化、いじめ防止条例の制定) ③基金の運用・活用(基金利子の年度ごと金額の差、特定目的基金の運用) ④ 子育て支援
	望月 昇 ①スクールバス購入の予定は過去にあったか ② スクールバス、路線バスを通学手段としている児童、生徒への無料化 ③4市との災害相互応援協定締結に至った経緯 ④4市との都市間交流
	秋山 貴 ①定住促進事業(UJターン施策の推進状況と効果 、都市ブランド戦略の策定) ②地域交通システム(地域公共交通マイスター制度 、高齢化時代における地域交通計画) ③市長の選挙公約(選挙公約の執行状況と評価、今後2年の執行計画)
	榎本 祐三 ①館山市の防災行政無線整備(今日までの整備実績、今後の整備計画) ②館山市のごみ再資源化事業(ペットボトル処理の他市との違い、処理後有価物となったペットボトル・金属類等の取り扱い 、当該事業の随意契約)
	瀬能 孝夫 ①通学路の安全対策(危険箇所の掌握と今後の取り組み 、安全教育) ②学校のいじめ問題(いじめ掌握の取り組み、いじめる側への対応、予防) ③子育て環境の取り組み(各種子育て施設、設置の展望、子供・子育て会議) ④胃癌検診のあり方(ピロリ菌検査の導入 、検診費用の助成)
	龍崎 滋 ①半導体企業の撤退(離職者への緊急雇用対策の効果、工場の解体に関する安全確保と今後の跡地) ②歳入歳出決算書の記載 ③ 市の窓口対応 ④公用車の使用状況(保有台数は適正か 、大型バスの耐用年数)

※ 紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、2月下旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

観光振興・産業振興・雇用対策

- 南総里見まつりの経済効果は？
- 船形ふれあい市場の活性化対策は？
- 市内企業閉鎖のその後の取り組みは？

問 南総里見まつりの経済効果について問う。

(石井敬之議員)

答 初日は天候にも恵まれ、23地区から山車・神輿を出祭いただき、パレードや戦国合戦絵巻、60店舗以上の出店によるご当地グルメ・物産まつり、花火の打上げなど盛大なイベントを開催することができました。

2日目は、残念ながら雨模様ではありましたが、郷土芸能祭は会場を変更し、ご当地グルメ・物産まつりは予定どおり行われ、1日目は約9万人、2日目は約5千人のお客様で賑わいました。

ご当地グルメ・物産まつりには、地元業者からも24店舗の出店があり、食材や物販を通して地域のピーアール、集客に大

きな効果があったと考えます。宿泊についても、南総里見まつりを目当てに宿泊したお客様も多かったと宿泊業者の方から伺っています。



南総里見まつりの様子

問 船形バイパスの開通に合わせた、船形ふれあい市場の活性化対策について問う。

(三澤智議員)

答 船形地区は、船形バイパスが開通した際には館山市の北の玄関口として、ますます重要な地域となりますし、その中でも、来訪者をもてなす施設として、ふれあい市場の役割は、より高まるものと思われま

す。このような状況を受け、地

元船形地区においてふれあい市場を設置、運営する館山船形漁協を中心に、地元関係団体による地域活性化を目指した協議会を設置する動きがあります。

市としても、この協議会のメンバーとして積極的に関わり、様々な地域活性化に資する事業が提案され、円滑に実施されるよう、国・県への要望や他の関係団体への働きかけなどについて、支援していきたいと考えます。

問 市内企業閉鎖のその後の取り組みについて問う。

(鈴木順子議員)

答 地元での再就職先の確保を最優先とするために、千葉労働局、ハローワーク館山・ハローワーク木更津といった国の機関、千葉県、安房郡市の市町、さらには商工関係団体が連携して情報を把握し、各種雇用対策の円滑な推進を図ることを目的にした「安房地域緊急雇用対策協議会」を設置し、各機関が協力し合いながら支援策を展開しています。

具体的には、ハローワーク館山が企業に出向き、雇用保険の受給手続きなどの相談会

を実施していますが、その場に県の関係機関と市が同席し、再就職や生活関連の相談などに応じるといった一体的な取り組みを行っています。

このほか、ハローワーク館山・ハローワーク木更津が合同で特別相談窓口を設置し、求人情報の提供や個別の職業相談を行うほか、求人開拓の実施、就職支援セミナーの開催を予定しています。

ハローワーク館山では、商工関係団体と合同の就職面接会の実施も予定しています。

また、県では、商工労働部を中心に、工場を引き続き活用していただける新たな企業の誘致や基金を活用した雇用創出事業実施への支援、離職者等再就職支援訓練の実施、求人開拓の実施などの各種支援策を実施することとなっています。

市においては、就労支援及び起業支援についての助成施策を構築したほか、緊急相談窓口の設置により、これまで22件の相談に対応しています。さらに、緊急雇用創出事業の活用により5事業を実施し、30名の雇用を確保するための手続きに入っています。

交通安全・防災対策

- 4市との災害応援協定締結の経緯は？
- 市内通学路の危険箇所の掌握状況は？

問 4市(笛吹市・篠山市・倉吉市・三郷市)との災害相互応援協定締結に至った経緯について問う。(望月昇議員)

答 現在、4つの市と協定を結んでいます。大きな災害が発生した場合において「自助」「共助」「公助」そして、同時に被災しない遠方の市町村との「遠助」が重要であると考え、旧石和町と姉妹都市の関係にあったことが縁となり、山梨県笛吹市と平成19年7月6日に締結を行いました。

その後、東日本大震災の発生を受け、災害時の相互応援協定がより重要視され、更に3市との協定の締結を行いました。

兵庫県篠山市については、昭和53年に両市の観光協会同士が、デカンショ節を縁に姉妹都市提携していることから、平成23年11月25日に協定を締結しました。

鳥取県倉吉市については、戦国武将里見氏の縁で観光や文化面で交流をしていたことにより、平成24年9月2日に協定を締結しました。

埼玉県三郷市については、同市で開催されているジャズとグルメのイベント「Jazz & Grille(みさとすたいる)」への参加や観光交流が縁となり、平成24年10月29日に協定を締結しました。

今後も防災対策に関し、お互いの意見交換も含め、相互応援体制を築きたいと考えています。



三郷市との調印式

問 市内通学路の危険箇所
の掌握状況について問う。

(瀬能孝夫議員)

答 今年度、学校から教育委員会に報告された危険箇所について、7月と8月に地域

の方や関係機関との合同点検を実施しました。

報告された82箇所の危険箇所については、道路管理者、警察などの担当機関により、順次、対策が行われています。現在、対策済みの危険箇所が13箇所、対策が決定した危険箇所が36箇所となっています。

来年度以降についても、学校及び関係機関と連携し、危険箇所への対策を継続していきたいと考えています。

道路整備・都市計画

- 一般国道127号(館山バイパス)整備の要望活動の進捗状況は？
- 船形バイパスの進捗状況は？
- 地域公共交通マイスター制度の取り組みは

問 一般国道127号(館山バイパス)整備の要望活動の進捗状況について問う。

(石井敬之議員)

答 4車線化に向けた整備促進の要望活動は、平成19年から継続して実施しています。

従来から観光シーズンの休日になると、約7kmに及ぶ交通渋滞が発生していましたが、

平成19年に館山自動車道が全線開通することもあり、一層深刻な状況となることが懸念されました。

そのため、南総文化ホール前交差点から富浦インターチェンジ出入口までの区間を4車線化し、交通容量を拡大していただくよう国へ要請したところです。

平成20年にはこうした要望活動が実を結び、交通事故対策を中心とする道路環境整備事業の実施により、南総文化ホール前交差点から那古交差点までの区間が4車線化され、大幅な改善が図られました。

しかし、那古交差点から富浦インターチェンジ出入口までの区間については、整備が行われず、わずか2kmの区間ですが、渋滞解消という課題は残りました。

そこで、平成21年からは、南房総市や両市の商工会議所及び商工会、並びに観光協会をはじめ、沿線町内会、千葉県トラック協会房州支部、館山地区タクシー運営協議会、高速バス事業者にも要望者として参加していただき、官民共同の要望活動を行ってまいります。

残りの区間の整備の見通しについては、平成23年度から「関東ブロックにおける新規事業候補箇所」にリストアップされています。

ただし、具体的な着工時期等は、明らかになっていない状況です。今後も継続的な要望活動を実施し、早期事業化に向け、努力していきたいと考えています。

問 船形バイパスの進捗状況について問う。(三澤智議員)

答 昨年度に実施した道路予備設計に基づき、道路延長、約1.1kmについて、地形測量、道路の取得面積を算出する土地境界測量、道路の構造を決めるためのボーリング等の地質調査及び工事を実施するための道路詳細設計を行っています。

現在、本路線の都市計画変更に向け、素案の縦覧を開始しており、市民から御意見を伺った上で年度内に都市計画審議会を開催する予定です。また、本事業は平成25年度に国への補助事業の要望を行い、平成26年度に事業認可を

受け、その後用地取得を開始していく予定です。本事業の完成年度は、現段階では、平成33年度を見込んでいます。



船形バイパス (色ライン 道路計画線)

問 地域公共交通マイスター制度の取り組みについて問う。

(秋山貴議員)

答 地域公共交通マイスターとは、公共交通の分野で、利便性向上などの成果を上げた取り組みや、先進的な取り組みを実践する地域において、その取り組みを中心となって推進し、知識、経験、熱意を有する方を「地域公共交通マイスター」として、関東運輸局長が任命する

ものです。

市においては、地域公共交通マイスターの講演会や、グループディスカッションなどに参加し、情報収集や意見交換を行っています。引き続き、各種の先進的な取り組みなどの情報収集に努め、市内公共交通の維持や利便性の向上などにも役立てたいと考えています。

健康福祉・疾病対策

- レセプト点検データ化することの意味は？
- ピロリ菌検査の導入は？

問 レセプト点検データ化することの意味について問う。

答 レセプトのデータベ

ーシ化は、千葉県国民健康保険団体連合会により、平成21年度から開始され、そのデータベースを活用する「国保総合システム」が、平成23年9月から稼動しています。

レセプトのデータベ

ーシ化されたのはもとより、一つの病気で色々な病院を受診するなどの重複頻回受診者を抽出し、保健師による訪問指導に活用するほか、病類別疾病統計や高額医療費の分析等が、以前より容易にできるようになっています。

問 ピロリ菌検査の導入について問う。(瀬能孝夫議員)

答 厚生労働省の見解や、日本ヘリコバクター学会が採択した「ピロリ菌感染の診断と治療のガイドライン」などに象徴されるように、ピロリ菌と胃がんの関連性に関する研究が進んでいることは、十分認識しています。

一方で、現在、市が行っているエックス線間接撮影による胃癌検診においては、がんだけでなく、ポリープや胃潰瘍など、がん以外についても発見されており、平成23年度は受診者2971名中、胃ポリープ44名、胃潰瘍22名、胃がんは5名の方が発見されるなど、一定の成果を上げています。

新たな胃がん検診を検討するに当たっては、新たな手法として可能性を秘めているピ



ピロリ菌の顕微鏡写真

ロリ菌検査と実績を重ねてきた従来の手法の両者について、それぞれのメリット、デメリットを十分に分析した上で判断したいと考えています。具体的には、今後1年程度を目途に、地域の専門家の協力を得ながら、先進地域の事例調査や国の動向などについて分析を重ね、新たな胃がん検診の手法について取りまとめたいと考えています。

環境問題

- 坂田の残土埋め立て事業は？
- 残土の定期検査の立会いは？
- ペットボトル処理の他市との違いは？
- 処理後、有価物となったペットボトル等の取り扱いは？

問 坂田の残土埋め立て事業について問う。(内藤欽次議員)

答 この事業に適用される県の埋立てに関する条例の目的は、「土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生を未然に防止すること」にあり、そのための方策として、発生元での土壌検査や、埋立現場での定期的な検査、災害の発生を防止するための埋め立て構造の審査等が定められています。条例では、事業者は安全基準に適合しない土砂等を使用し、埋め立て等を行ってはならないことや、埋め立て等に使用される土砂等が崩落し、飛散し、又は流出しないように必要な措置を講じなければならないことも規定されています。

この条例に従い、適正に行われる埋立事業であれば自然環境や生活環境が汚されることはないものと考えます。

問 君津市のように県と市と地域住民が協力して、残土の定期検査の立ち会いをできないか問う。(石井敏宏議員)

答 君津市に状況を確認したところ、地域住民と事業者が協定を締結した場合に、その協定に基づき、県が実施する定期検査に、地域住民も立ち会っているとのことでした。

この協定は、県が策定している「千葉県土砂等の埋立て等に関する指導指針」の中の「事業者は、事業計画区域の所在する地域の住民の代表者から、協定締結の申し出があった場合は、協定の締結に努めなければならない。」との規定に基づき、締結されるものです。

市においても、事業計画区域の所在する地域の住民の希望があり、事業者と合意すれば、協定を締結することで、定期検査への地域住民の立会いは可能です。

問 ペットボトル処理の他市との違いで、洗浄まで実施している理由について問う。

答 容器包装廃棄物の分別収集に関する省令において、ペットボトルについては、洗

(榎本祐三議員)

浄されていることという品質基準が定められています。つまり、洗浄は必要です。で、飲み残しのある物や、多少汚れている物について、洗浄を実施しています。

問 処理後、有価物となったペットボトル等の取り扱いについて問う。(榎本祐三議員)

答 ペットボトル及びプラスチック製容器包装については、処理後は、日本容器包装リサイクル協会に引き渡しています。

協会が行う再商品化業務において、売却益などが発生した場合、市町村に還元されます。

平成23年度は、771万4852円の歳入がありました。



処理後のペットボトル

また、金属類については、安房郡市広域市町村圏事務組合の粗大ごみ処理施設に搬入し、処理され、組合により売却処分されています。その収益は、粗大ごみ処理施設の運営に充てられています。

教育問題・子育て

- 中学校のいじめに関わる自殺問題は？
- 再アンケートを記名式にした理由は？
- いじめ相談窓口の拡充は？
- 市内保育園保育料の引き下げは？
- スクールバスの無料化は？

問 中学校のいじめに関わる自殺問題について問う。

(内藤欽次議員)

答 9月議会の行政一般通告質問においても、平成20年に起きた市内中学生の自殺に関する質問がございましたが、教育委員会では「いじめは全ての学校、全ての児童生徒に起こりうるもの」と考え、教育活動全般を通じて、生命や人権を尊重する指導をしているところで。

現在、いじめが全国的に社会問題となっている中、市としてはいじめの早期発見・早期解決への新たな対策として、いじめ相談室の開設準備を進めています。

また、平成25年度には、学級の状況を把握することを目的とした心理テストの導入を検討しているところです。

今後、児童生徒及び保護者との信頼関係を築きながら、いじめ対策に尽力していく所存です。

問 再アンケートを記名式にし、「いじめに関する記述はありませんでした」という一文を入れて調査を行った理由について問う。(石井敏宏議員)

答 現在は、学校管理下の児童生徒ではない、市民の方々に御協力を依頼する上で、可能な限り正確な情報を得て、結果を活かせる調査とすることが重要であると考えました。

そのために、無記名による無責任な回答を防ぎ、事実を確認することができるよう、記名方式に決定しました。

また、「いじめに関する記述はありませんでした」という記述についてですが、教育委員

会では、当初から、同様の内容を御遺族に説明させていただいています。

平成20年に行った生徒アンケートでは、いじめに関する記述はありませんでした。

教育委員会が把握しているいじめは、生徒からの相談や指導を通じて知り得たものであり、当時のアンケート以前から把握していたものです。

問 いじめ相談室窓口の拡充について問う。(森正一議員)

答 文部科学省調査における、館山市でのいじめ認知件数は、小学校46件、中学校6件、計52件と、昨年度と比較して増加しています。

調査結果からも、いじめ対策の充実は、喫緊の課題と認識しており、相談室の設置に当たっても参考にしています。

また、学校での個別相談窓口の設置については、いじめ相談室開設の趣旨は、子どもが、学校・家庭で相談しにくいいじめや、学校内で把握しにくいいじめについて、学校外に相談場所を設置することで、より相談しやすい制度を作ることです。

そのため、学校での新たな

窓口の設置は考えていません。なお、相談室の体制については、設置後の状況により、随時検討しながら、より良い体制になるよう取り組んでいきます。

問 市内保育園保育料の引き下げについて問う。(森正一議員)

答 館山市保育の実施に係る費用の徴収に関する規則で保育料を定めています。所得階層により、国の示す徴収基準額の30・1%から85%で設定し、低く抑えています。

保育料については、本年8月に公布された子ども・子育て支援法等において、認定こども園や保育園・幼稚園の利用について「施設給付」という考え方が示され、利用者負担についても、制度改正の中で定めることとされていますので、国の動向を把握しながら検討していきたいと考えます。

問 スクールバス、路線バスを通学手段としている児童生徒について、無料化ができませんか問う。(望月昇議員)

答 市の厳しい財政状況や受益者負担の原則、文部科学

省の通学経費については、原則自己負担の考え方などから、現在のところ両者を無料化する考えはありません。

公用車の保有台数は適正か？

問 公用車の使用状況について、今の保有台数は適正か問う。(龍崎滋議員)

答 平成22年度末の保有台数は、対前年度で9台減の125台です。

また、平成24年10月末現在の保有台数ですが、135台となっています。

これは、主に平成23年度に館山市及び南房総市学校給食組合の給食車8台が館山市に帰属したため、管理車輛台数が増加したものです。

公用車の削減については、平成21年度策定の公用車等利用削減方針により削減に努めており、平成22年度から、特別車輛等を除いた車輛については、管財契約課で一括管理し、各課で共同使用することにより、効率的な運用を図っています。

したがって、保有台数は適正であると考えています。

UJターン施策の推進状況は？

問 UJターン施策の推進状況と効果について問う。(秋山貴議員)

答 市はNPO法人おせっかいと協働し、定住施策の推進に取り組みしており、平成24年4月から10月末までにおける移住者の実績は、16世帯36人、この事業を始めた平成19年度からこれまでの総数としては、76世帯175人となっています。

人と人を繋ぐことをテーマに活動する同法人との協働により、30代、40代の子育て世代を中心とした移住者の増加に効果がでているものと分析しています。

市民への窓口対応の向上は？

問 市民への窓口対応の向上策について問う。(龍崎滋議員)

答 窓口に限らず全庁的な取り組みとして、市民に対するあいさつの徹底や市民の立場に立ったわかりやすく誠実で、親切的な対応を心がけてい

ます。

また、職員研修において、新規採用職員や勤続3年以下の職員に対し「接遇研修」を行っており、11月には、館山市観光協会主催で行われました、平林都氏による「おもてなしの心と接遇道」と題した講演に、新規採用職員や窓口担当職員を参加させたところです。今後とも、各種研修等を活用し、市民に好感をもつていただける対応に努めていきたいと考えています。

委員会の視察等

各委員会で行った行政視察等について、主なものをお知らせします。

10月1～3日 文教民生委員会行政視察Ⅱ広島県三原市・呉市・廿日市市、不登校児童生徒及び保護者への支援事業・医療費削減対策事業・糖尿病性腎症重症化予防事業・大和ミュージアム・世界文化遺産の保存管理

10月22～23日 建設経済委員会行政視察Ⅱ宮城県七ヶ浜町・名取市・塩釜市、メガソー

ラー施設・除塩なしの野菜工場・観光桟橋及び関連施設

11月5～7日 総務委員会行政視察Ⅱ福岡県筑紫野市・久留米市・糸島市、市民自治基本

条例・通勤定期利用支援金事業・自主防災組織・防災対策専門員・空き家等の適正管理に関する条例



建設経済委員会の視察の様子

本市への視察訪問

11月15日 兵庫県篠山市議会の議員が南房総観光カレッジ視察のため来館しました。

11月26日 神奈川県小田原市議会の議員が移住定住促進

事業視察のため来館しました。

1月23日 宮城県石巻市議会の議員が館山港交流拠点、渚

の駅「たてやま視察のため来館しました。

議員研修の実施

千葉県南12市議会議長会主催の議員研修会が1月24日に袖ヶ浦市民会館で開催され、自治体議会政策学会会長の竹下譲氏を講師に「議員視点の改革から住民視点の改革へ」と題して講演をしていただき、千葉県南部の12市の議員及び議会事務局職員約300名が熱心に聴講しました。



千葉県南12市議会議長会議員研修会

平成24年12月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第57号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第58号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 全会一致
議案第59号	工事請負契約の変更について	原案可決 全会一致
議案第60号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 全会一致
議案第61号	館山市小規模水道条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第62号	館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第63号	館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第64号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第7号）	原案可決 全会一致
議案第65号	平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第66号	平成24年度館山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第67号	平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
陳情第18号	生活保護基準引き下げはしないことなどを国へ意見書提出することを求める陳情書	継続審査 文教民生委員会

会議録の検索・閲覧

12月定例会及び委員会の会議録は、2月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

本会議の傍聴手続きは、希望する当日に議会事務局（市役所本館2階）前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。（委員会の場合は事前に連絡をお願いします。）

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。（館山市のホームページからご覧になれます。）

次の定例会の予定

開会日
2月22日(金)午前10時～
一般質問
2月27日(水)、28日(木)
予備日：3月1日(金)
各日それぞれ午前10時～
請願・陳情提出締切
2月15日(金)正午まで

編集後記

皆様のご協力のおかげで、この議会報も1000号を迎えることができました。

今回から議案の説明と委員会の審査を合わせて読みやすくすることにいたしました。

これからも、編集委員一同気持ち新たに、議会だよりの編集に取り組んでいきます。

昨年は、地方経済の低迷する中、市内大手企業2社が移転又は撤退を決めるなど、館山市にとっては厳しい一年でした。

本年は、政権交代により積極的な景気対策が計画される中、厳しい市財政とのバランスを考え、より効率的に地域経済の活性化を図るべく、市議会としての政策提言をしていきます。

また、議会を活性化するため、市民の方々との接点をより広くしていきたいと考えております。皆様の声をぜひお聞かせください。（秋山 貴）

議会報編集委員会
（◎委員長 ○副委員長）

◎秋山 貴 ○三澤 智
石井 信重 本多 成年

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール（番号及びアドレスは表紙参照）でご連絡ください。